

◆訪れる機会の少ない南米の小国ウルグアイ、パラグアイとコロンビアを一度で訪問！◆

ウルグアイ、パラグアイとコロンビア 12日間

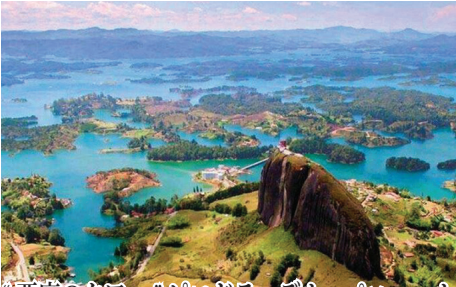
出発日限定・特別企画	
旅行期間	9月4日(木)～9月15日(月)
旅行代金	998,000円
一人部屋利用追加代金	129,000円

- 利用予定航空会社：アエロメヒコ航空。
- 添乗員：成田空港より全行程同行致します。
- ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
- 食事：朝食8回、昼食7回、夕食8回(機内食除く)
- 海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- 最少催行人員：10名(最大20名)
- 旅券余白：5頁以上(見開き1カ所)
- 旅券残存期間：ウルグアイ入国時6カ月以上要
- ◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
- 成田空港使用料・保安サービス料 3,160円
- 国際観光旅客税：1,000円
- 燃油サーチャージ目安：22,600円(2025年2月現在)



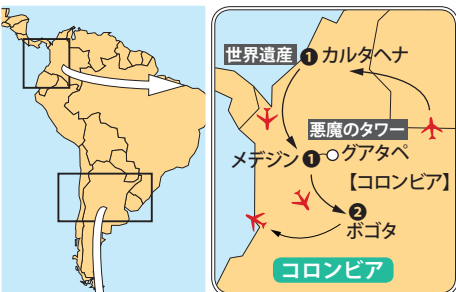
世界遺産カルタヘナ旧市街

コロンビアは南米大陸の北端に位置し、カリブ海沿いのコロニアル都市、アンデス山脈の高原都市など変化に富んだ自然に溢れます。それら多様な自然と黄金郷伝説に代表される優れた先住民文化、コロニアルの街並みなど、実は驚くほど見所豊富なコロンビアへ。



“悪魔のタワー”ピエドラ・デル・ペニョール

約七千万年前に出来た高さ220mの巨大一枚岩。頂上からは、人造湖グアタペ湖と緑の大地の絶景が見渡せます。



都市名	スケジュール
1 東京	■午前、成田空港より、空路、メキシコシティへ。
1 メキシコシティ	■着後、メキシコシティの市内観光。ソカロ○、カテドラル○など。 ■夜、空路、南米内乗り継ぎ、ウルグアイのモンテビデオへ。〈機中泊〉 日 電 車
2 モンテビデオ	■昼、モンテビデオ着。着後、 モンテビデオ市内観光 。独立広場○、ソリス劇場○、市場○、ラ・プラタ川のビーチ○など。 〈モンテビデオ泊〉 日 電 車
3 モンテビデオ	■午前、植民地時代の美しい街並みが残る 世界遺産コロニア へ向かいます。
3 コロニア	■午後、 世界遺産コロニア旧市街の観光 へ。大聖堂○、マヨール広場○、ポルトガル博物館○、ナカレリョの家○など。 〈コロニア泊〉 日 電 車
4 コロニア	■午前、フェリーにてラ・プラタ河を渡り、アルゼンチンのブエノス・アイレスへ。
4 フェノス・アイレス	■午後、 ブエノス・アイレスのパレルモ地区の観光 。パレルモ公園○、日系移民が寄贈した日本庭園○などにご案内します。 ■夜、空路、パラグアイとの国境の町ポサーダスへ。 〈ポサーダス泊〉 日 電 車
5 ポサーダス	■朝、国境を越え、パラグアイに入国。 世界遺産トリニダー遺跡 ○の観光へ。イエズス会が先住民グアラニー族にカトリックを普及させるため、共同生活を営みながら農耕中心の自給生活を送った場所です。
5 (トリニダー遺跡)	■午後、パラグアイの首都 アスンシオン へ向かいます。 〈アスンシオン泊〉 日 電 車
6 アスンシオン	■朝、空路、南米内都市乗り継ぎ、コロンビアのカルタヘナへ。
6 カルタヘナ	■夕刻～夜、着後、ホテルへ。 〈カルタヘナ泊〉 日 電 車
7 カルタヘナ	■午前、 世界遺産カルタヘナの観光 。大聖堂○、セン・ペドロ・クラベール寺院○、町で最も美しい建物といわれる宗教裁判所跡(内部は博物館)○など。 ★昼食は、 シーフード をどうぞ。
7 (悪魔のタワー)	■午後、市内で最も堅固な城塞で、南米におけるスペイン工兵技術の傑作といわれる サン・フェリペ城塞 ○と町を見下ろす パパの丘 ○を訪れます。 ■夕刻、空路、花の町 メデジン へ向かいます。 〈メデジン泊〉 日 電 車
8 (メデジン)	■午前、ペニョール湖畔の高さ220mの巨大一枚岩 ピエドラ・デル・ペニョール ○(悪魔のタワー)にご案内します。ご希望の方は720段の階段を登り、頂上からのパノラマを楽しむことも可能です。その後、 カラフルな家並み が並ぶ グアタペ の散策をお楽しみいただけます。観光後、メデジンに戻ります。
8 (グアタペ)	■夕刻、空路、首都 ボゴタ へ向かいます。 〈ボゴタ泊〉 日 電 車
9 ボゴタ	■午前、 シバキラ を訪れ、 世界でも珍しい岩塩の洞窟内に造られた岩塩教会 ○を見学。
9 (シバキラ岩塩教会)	■午後、 ボゴタ市内観光 。ポリバル広場○、大聖堂○、国会議事堂○、重厚な内部装飾が有名な サン・フランシスコ教会 ○、ポテロ博物館○などにご案内します。 ■夕食後、市内を見下ろす モンセラテの丘 ○から美しい夜景をご覧ください。 〈ボゴタ泊〉 日 電 車
10 (黄金博物館)	■午前、 黄金博物館 ○を見学。3万点以上の先住民文化遺物が展示。目も眩むくらいびやかな黄金製の工芸品、装飾品の数々は、ただ驚嘆のため息をつくばかりです。
10 ボゴタ	■午後、空路、メキシコシティ乗り継ぎ、帰国の途へ。〈機中泊〉 日 電 車
11	～日付変更線通過～
12 東京	■朝、成田空港着。通関後、解散。

※航空便スケジュールの変更が発生し、観光内容その他も変更となる場合がございます。予め、お含みおき下さい。
※今回のご旅行では、お一人様ご二席お使いいただける大型バスをご用意出来ません。四輪駆動車または小型車に充当となる場合がございます。予めご了承下さい。
※食事がボックス・スタイルとなる場合がございます。
※出入国手続き上、黄熱病の予防接種の必要はございませんが、訪問地が予防接種推奨地域に指定されています。



世界遺産トリニダー遺跡

17世紀にパラグアイの先住民グアラニー族へのキリスト教布教活動として建てられたイエズス会伝道所。煉瓦で造られた大聖堂は細かな彫刻が多く残り、グアラニー族の人々がいかに高度な技術を持ち備えていたかをうかがい知ることができます。



世界遺産コロニア

1680年に造られた古い街でポルトガル様式とスペイン様式が織り交ざった石畳の歴史地区が世界遺産に指定されます。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）

◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時、座席を確保できない時、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はおお客様のご負担となります。

●航空機及び移動について

◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地で空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。

◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合がございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならないこともございます。

◇僻地や列車等での移動でポーターがない場所では、お客様にご協力いただきご自身の荷物をお運びいただくこともございます。

●利用航空機について（日本発着便）

◇エアロメヒコ航空、エアカナダ、デルタ航空、アメリカン航空、ユナイテッド航空、全日空、日本航空、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、エチオピア航空、シンガポール航空、フランス航空、KLM オランダ航空、ITA エアウェイズ、ルフトハンザ・ドイツ航空、スイス・インターナショナル・エアラインズ。

●日程中のマークの読み方

◎:朝食、Ⓜ:昼食、🌙:夕食、🍷:機内食、🍽:食事なし、
 ○:入場観光、○:下車観光、△:車窓観光

●時間帯のめやす

04:00	06:00	08:00	12:00	13:00	17:00	19:00	23:00
深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜

●ご宿泊について

◇お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて、一人部屋をご利用いただけます。**但し、ご出発日の60日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

●個人情報の取り扱いについて

◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報に関しましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関わる関係諸機関へ必要範囲内で提供いたします。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認ください。

■外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスをご利用いただけます。カメラ・ビデオを撮影しながら自由に動けることで大変好評いただいております。

◇フライトの遅延・欠航など当社の関知しない事由により旅程を変更せざるを得ない場合や帰国が遅れた場合など、追加で必要となる費用は、旅行業約款に基づき、ご参加者の皆様にご負担いただくことになります。予めご了承の上、お申込み下さいますようお願いいたします。

◇旅行事故緊急費用や偶然事故対応費用を含む海外旅行保険にご加入いただくことをお勧めいたします。

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご旅行条件（要旨）ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

この旅行は株式会社旅のデザインルーム（以下当社）が企画・募集し実施する企画旅行であり、参加されるお客様は当社と企画旅行契約を締結することになります。当社は旅行日程に従ってお客様が運送・宿泊機関等の旅行に関するサービス（以下旅行サービス）の提供を受けることができるように、手配することを引き受けます。この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書及び同法12条の5に定める契約書の一部になります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）によりします。お申込の際は、旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認くださいませようお願ひ申し上げます。

●旅行代金に含まれるもの

◇旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食事料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）、宿泊料金二名一室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれない物

◇上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。超過手荷物料金、お一人部屋を利用される場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプション・ツアーの料金、渡航手続関係諸費用（旅券印紙代、手続代料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●お申し込み際して

◇旅行中に特別な手配を必要とする方は、お申込みの時にその旨お申し出下さい。旅行の内容によっては、お伺い書や健康診断書等をご提出いただく場合がございます。又、コースによっては、ご参加いただけないこともございます。

◇他のお客様に迷惑を及ぼすおそれがある当社が判断する方のお申込みはお断りすることもございます。

●旅行代金のお支払い

◇旅行代金は、出発日の21日前までにお支払い頂きます。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し	30万円以上	旅行代金の10% (限度額5万円)
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	15万円以上 30万円未満	5,000円 3,000円
以下は全ての旅行に適用 ●20日前から3日前までの取消し	15万円未満	2,000円
●前々日から当日		旅行代金の20%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の50%
		旅行代金の100%

●「ピーク時」とは12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいいます。

●取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加料金（一人部屋利用追加料金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

●相部屋の方のお取り消しに伴う一人部屋追加料金について

◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消された場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加料金のお支払いが必要となります。**尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

◇この旅行条件は2025年3月14日を基準としております。また旅行代金は2025年3月14日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。又、当社はいかなる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

●旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく、下記旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

マラリアについて ※中南米は、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出入国の条件にはなっていませんが、旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、震え、咳、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痙攣、昏睡など。放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間で発病することが多いといわれています。

【マラリアの治療】

マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日のうちに回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がでたら直ぐに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してはまだまだ有効な予防接種がありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。厚労省は予防的服用をはっきりと推奨しておらず、個人的な意思に任せるとしてあります。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取り線香やベープを炊くとよいでしょう。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

★高山病について、必ずお読み下さい／ペルー、ボリビア、北アルゼンチンを訪れるツアー★

★高山病とは、低酸素状態に置かれたときに発生する症候群のことです。高山では空気が地上と比べて薄いため、概ね2,500m以上の高山において酸欠状態に陥った場合に、さまざまな症状が現れます。主な症状は、頭痛、吐気、めまい。こうした低酸素状態に対応しようとする体の変化は、誰にでも起こるものです。高山病の発症の具合は人それぞれで、年齢、高所の経験などに関係なく発症します。ですからどのぐらいたるの高さで起こるのか、どのぐらいたるの体力があればかかりにくいかなどはいえません。しかし突然発病して倒れるといった病気ではなく、必ずその前に兆候が現れます。その兆候を警告として捉えることができるかどうかが重要です。また、**一般的に高血圧、心臓病の方は高山病になり易いと言われており、既往症のある方、少しでもご心配な方は、当日程表を医師にお見せいただき、ご相談の上、ご判断下さいますようお願い申し上げます。**※高地へのご旅行にご参加の方は必ず、**疾病死亡・治療、救護者費用を含む海外旅行保険へのご加入をお願いしております。**

★高山病対策として

- 1) 体を高山に慣らすことが必要です。これを高山順応といいます。これを無視して高度を上げると症状が悪化する場合があります。旅のデザインルームの各コースでは、お客様に無理なく高山順応していただけるよう工夫して日程を組んでいます。
- 2) 添乗員がパルスオキシメーター（血中酸素飽和度測定装置）を持参し、必要に応じて客観的にお客様の高度順応状態を把握します。
- 3) 毎日水分はたくさん摂りましょう。高山では脱水が起こりやすく、渇きの感覚も鈍化します。平地では、普通の人は毎日約2リットルの水分を必要とします。高山では1日の水分必要量は4リットルを超えたとはいわれています。
- 4) 暖かくして快適な睡眠をとりましょう。激しい運動や過度な飲酒・喫煙は控えた方が良いでしょう。
- 5) 予防薬:「ダイアモックス」は有効であるという日本旅行医学会の報告があります。但し「ダイアモックス」には副作用として口唇、手足のしびれが出ることもあり、医師の処方が必要です。